

新小山市民病院ニュースレター Shin-oyama City Hospital News letter No.7

<http://www.hospital-oyama.jp/>

〒323-0028 栃木県小山市若木町1-1-5 ☎0285-21-3800 (代表)

病院長挨拶

千載一遇のチャンス

来年末に完成する予定の新病院の建設現場に赴き、鉄骨4階建ての屋上から周囲を見回すと、360度視野に入るのは紅葉の木々のみで、遥か向こうに富士山や筑波山を望むという、なんとも素晴らしい環境であることに驚きました。医師会事務所が移住する予定の近接する「健康の森」が完成すれば、絶好の市民の憩いと癒しの場になるだろうと期待が膨らみました。その時、新市民病院は、どのような病院になっているのでしょうか。

折しも、全国の病院が自院の病棟について高度急性期、急性期、回復期、慢性期のどれに相当するかを県に届け出る病床機能報告制度が施行されました。2025年問題を見据えた、総病床数の削減と機能別病床数の再編を核とした地域医療ビジョン策定の第一歩です。小山地区においては、両大学病院、新小山市民病院、そして地域密着型諸病院のそれぞれがどのように機能を分かち合い、それを裏付ける医療人の配置をどう成し遂げるか、という課題が突きつけられています。医療は、それを受ける側がその内容を十分に告知されたうえで最終決定権を持つべきです。限られた医療資源を上記4つの医療機能別の必要量に応じて分配し、全体最適化を図った上で、そのシナリオに沿って個々の医療機関が自院の立ち位置を決めていくというのが最も合理的です。しかし、現実には、個々の医療機関の最適化が先に立っており、全体を俯瞰するビジョンの策定は事実上困難です。

新市民病院の最初の一手は、全病棟を「急性期」として着手しました。救急、高齢者、がん、小児、産婦人科をはじめとする市民に直結した医療の各領域において、地域との関連を充分に考慮しながら、緑の新天地に存在感のある病院を創成したいと念じています。素晴らしい環境の中で新病院が開設されることを「千載一遇」の機会と捉えて、良い医師、看護師がさらに獲得できるように、今から「選ばれる病院」となるべく「種まき」に励んでおります。

平成26年12月

理事長・病院長 島田和幸

主なトピックス

ポットラックカンファレンス ご協力ありがとうございました。

ポットラックカンファレンス ご協力ありがとうございました。

10月7日、新小山市民病院会議室にて第2回の会が開催されました。

今回も地区医師会の先生方をはじめ、総勢37名の先生方に御参加頂きました。カンファレンスでは、国分寺さくらクリニック村田先生、自治医科大学総合診療科山本先生、トータルクリニック寺門医院寺門先生の3名の先生に御登壇頂き、日常診療の中で気付いた点、気付けなかった点も含めたオープンな症例提示をもとに、参加して頂いた先生方との活発な意見交換が行われました。

今回は、最後に相談コーナーを設けておりましたが、症例提示であっという間に時間が過ぎてしまい、行うことができませんでした。申し訳ありませんでした。

この病院だよりが発行される頃には第3回のカンファレンスが行われていると思います。反省点もたくさんありますが、まだ始まったばかりのポットラックカンファレンス、皆様とともにより良いものにしていきたいと考えております。お話ししたい経験や相談してみたい疑問も随時募集しておりますのでポットラックカンファレンス事務局まで御連絡ください。もちろん、聞きにいらっしやるだけでも大歓迎です。今後とも宜しくお願い申し上げます。

ポットラックカンファレンス事務局

熊田真樹、小松憲一

新小山市民病院 総合診療科

email:komaken@jichi.ac.jp





新任医師からのご挨拶

☆10月1日より5名の新しい先生方が着任されました☆

平成 26 年 10 月 1 日から 新小山市民病院 心臓血管外科 に赴任致しました 上西 祐一朗(かみにし ゆういちろう)と申します。出身は鹿児島県ですが、平成3年に筑波大学を卒業しましてからは、筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院、日立製作所日立総合病院と茨城県で心臓血管手術に従事しておりました。平成 13 年からは栃木県に参りまして、自治医科大学心臓血管外科で緊急を含めた数多くの心臓血管手術に携わって参りました。

心臓血管外科 部長

上西 祐一朗



栃木県の心臓血管手術では大きな課題が二つございます。

1つは、大学病院などの拠点病院が待機患者さんで飽和しているために時折ではございますが緊急患者さんを県内で受け入れができずに県外へ搬送していることです。遠方の病院での緊急手術は患者さんにもご家族にも大変なご負担となっています。この課題に対しまして私ども新小山市民病院が安全な心臓血管手術をご提供できる病院になることを準備して参ります。

2つ目は、心臓血管手術の危険性や安全性を十分にご理解いただけないことで漠然とした大きな不安を抱えたまま過ごし、より重症化してから手術される患者さんが多いことです。心臓血管の手術は患者さんにはとても怖い一大事件だと思います。しかし、早期の手術治療こそがよりよい Quality of life につながります。心臓血管手術の心配や不安を軽減するために、患者さんやご家族、かかりつけ医先生に対しましては納得いくまで十分な説明と丁寧な診察を心がけて参ります。

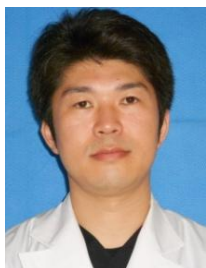
これらの課題を克服できるように栃木・茨城・埼玉・群馬の交通の要所となっている新小山市民病院でできる限りの努力をして参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



腎臓内科 副部長
今井 利美



小児科 医員
齊藤 洋



外科 医員
直井 大志

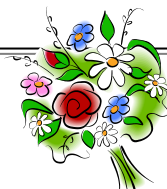


外科 医員
安部 望



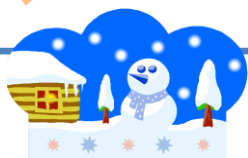
ご迷惑をお掛けする事も多々あるかと存じますが、誠心誠意対応させていただく所存でございます。今後とも、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

※ 今回スペースの関係上、名前のみの先生もおります。次回より各科の紹介などで改めてご紹介させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。





診療科からのメッセージ



整形外科より

整形外科部長 東 高弘

4月に新小山市民病院に派遣されてから、はや6か月が経過しました。

もともといらした田中先生との2名体制で、外傷などの緊急手術を中心に行ってききましたが、7月から脊椎手術、人工関節手術も少しずつ行うようになりました。脊椎に関しては、頸椎症性脊髄症に椎弓形成術を、腰部脊柱管狭窄症に対しては椎弓切除を主に行っております。(10月現在で22件)入院期間は、おおよそ2週間前後となります。人工関節に関しても、膝関節(TKA)8件、股関節(THA)8件、肘関節(TEA)1件を4か月で行いました。入院期間に関しても3-4週間ほどの入院期間になります。

当院は地域包括ケア病棟を併設しているため、予定手術の患者さんに関してはリハビリのための転院などは必要ないため、そのまま自宅退院できるまでしっかりリハビリすることができます。

現状では、外傷を含めほとんどの疾患に対応できるようになりましたので、お困りの患者さんがいらっしゃいましたら、ご紹介いただければ検討致します。なお私と田中の2名で手術を中心に病棟運営を行っているため、開業医の先生方には、整形外科外来業務を縮小しご迷惑をおかけしている点に関して、深くお詫び申し上げます。至急の場合には、直接お電話いただければ、出来るだけ対応致します。

今後ともよろしくお願い致します。



神経内科より

副院長兼神経内科部長 川上 忠孝

今年も年の瀬が近づく中、医師会会員の皆様におかれましては日々ご活躍のことと思います。

この9月から、脳卒中専門医である 亀田 知明 先生が私共神経内科の一員に加わり、常勤4名+時短常勤1名の5人体制での診療活動を行っております。神経内科で扱う疾患は脳血管疾患、神経変性疾患、末梢神経障害など非常に多岐にわたっておりますが、その中でも脳血管疾患は言うに及ばず、今や人口の高齢化と共に急速に増加しつつある認知症も、現代の国民病と言えるほどの患者数を示し、積極的な対策が急務と考えられます。

人口16万人、高齢者人口3万5千人のこの小山市で当科がなすべき事の 하나가脳卒中への対応であると考えます。脳卒中、特に脳梗塞などの虚血性疾患では、可及的速やかな対応が求められ、発症後4時間半以内であればt-PA投与による治療を行うことも可能です。当院では、小山市内唯一のt-PA対応可能病院として、脳卒中患者には24時間体制で受け入れますので、脳卒中を発症した患者様は速やかにご紹介いただければ光栄に存じます。

小山市内で当科が果たすべき役割の二つめが、認知症への対応であります。当科ではこの10月から毎週水曜午前を『もの忘れ外来』とし、認知症の患者様に対する診療を開始しました。皆様の日常診療の一助になるように努力致し、もの忘れなどでお困りの患者様の対応を行って参ります。予約外来としておりますので、詳細は当院医療連携室へお問い合わせ下さい。当神経内科はこれからも小山市の地域医療の充実に尽力して参りたいと存じます。

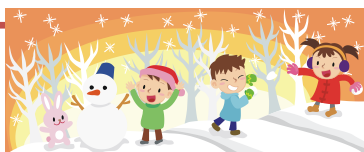
今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



呼吸器内科より

呼吸器内科部長 川口 一男

平成26年11月から、毎週木曜日午後2時より禁煙外来を開設することに致しました。煙草と関連する様々な合併症が少しでも発症しないように、又経過が良い方向に向かいますように、禁煙のお手伝いをさせていただきたいと思っております。患者様の気持ちに沿った禁煙指導ができますように努めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。



紹介患者さんの受診予約について

患者支援センター 医療連携相談室 山中 涼子

平成26年9月16日より、内科、神経内科、循環器内科の3診療科で、紹介患者さんの受診予約を始めました。すでに予約の手順についてはご案内させて頂いておりますが、是非ご利用いただきたく、再度ご案内致します。

また、10月より「もの忘れ外来」についても予約を受けるようになりました。水曜日の午前中のみですが、是非ご利用ください。(予約専用電話:0285-21-3871) 連携室スタッフが対応致します。

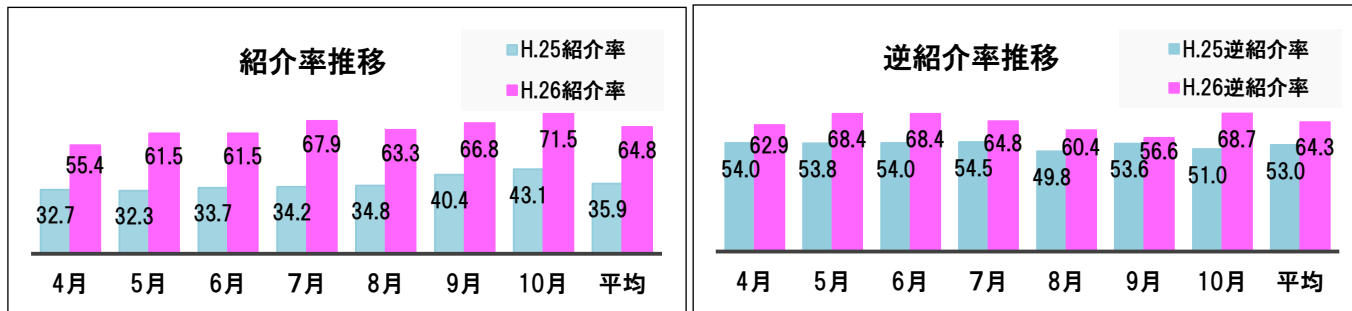


医療連携相談室からのお知らせ

医療連携相談室：0285-21-3849

○ 紹介率・逆紹介率の推移

昨年末より、前回のニュースレターでもご紹介したように、当院は逆紹介を積極的に行ってまいりました。今年度に入り、開業医の先生方から多くの患者さんをご紹介いただくようになり、紹介率・逆紹介率ともに上昇しています。皆様に感謝申し上げますとともに、今後ともご支援、ご協力よろしくお願い申し上げます。



○ 緊急時の患者さんのご紹介について

開業医の先生方から緊急で患者さんのご紹介を受ける場合、トラブルを防ぐため、連携室が直接電話を受け、できる限り指定された診療科もしくは救急科で受けるようにしてきました。実績については、下記表の通りです。(連携室で受けた緊急患者紹介数)脳卒中や不整脈、吐下血、その他緊急を要する時など、緊急時の患者さんのご紹介は、連携室に直接お電話ください。(Tel:0285-21-3849)

緊急患者紹介	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H.25年度	4	0	1	2	6	7	13	30	27	34	27	29	176
H.26年度	41	52	57	47	55	58	71						381

○ 地域連携協力施設について

H.25年11月より、地域連携協力施設の登録を開始しました。ご登録いただいた医療機関は、H.26.10月現在で194施設になります。地域完結型医療を目指し、今後も地域の先生方と連携を深めて、中核病院としての役割を果たしていきたいと考えております。

また、1階に医療機関情報コーナーを設け、ご登録いただき許可を得た医療機関の情報カードを作成して掲示しています。カードはだれでも自由に持ち帰ることができ、かかりつけ医や逆紹介を進める際に利用しています。カードの数は、10月現在で102枚になりました。患者さんやご家族の方に大変喜ばれています。まだカードを作成していない医療機関で、ご連絡をいただければ、いつでもカードを作成し掲示いたします。是非、ご連絡くださるようお願いいたします。

医療機関情報コーナー



○ とちまるネット運用講習会について

10月2日(木)と10月16日(木)の19:15~21:00、新小山市市民病院別館会議室において、小山地区医師会と共催で「とちまるネット運用講習会」を開催いたしました。出席者は、第1回講習会は28名(開業医の先生方が16名、当院医師が2名、他10名)、第2回講習会は37名(開業医の先生方が13名、当院医師が5名、他19名)でした。

今後は、患者さんご紹介時に是非承諾書をとっていただき、実際に情報共有に役立てていきたいと考えています。とちまるネット運用を進めるに当たり、何かご不明な点がございましたら、医療連携相談室にご連絡ください。

患者支援センター 医療連携相談室 山中 涼子

医療連携相談室

(受付時間 平日8:30 ~ 17:15)

医療連携に関する業務

- ①紹介患者さんに関する事務
- ②地域の医療機関からの紹介患者さんの診察や検査予約の受付
- ③地域医療機関訪問
- ④「新小山市市民病院診療科案内」などの作成と発送

患者さん・御家族に関する相談業務

- ①適切な医療機関や福祉施設などの紹介
- ②在宅医療や訪問看護に向けての調整
- ③医療費などの経済的問題の相談
- ④介護保険や身体障害者手帳などの制度の紹介や利用の相談 など



TEL 0285-21-3849

FAX 0285-21-3896

メール renkei@hospital.oyama.tochigi.jp

※メールでも受付しております。

